

報道関係者各位

平成 30 年 12 月 7 日

ベトナムにおけるスマホ決済金額は 2019 年に 819 億米ドル  
～2015 年比 14 倍、シェア獲得へ勝負の年～

共同通信グループでアジアの経済・ビジネス情報を配信する株式会社エヌ・エヌ・エー（本社：東京都港区、代表：岩瀬彰、以下：NNA）は、ベトナムのキャッシュレス化の概況やモバイル決済事業者の経営実態を調査し、各社が展開するサービスの差別化戦略について明らかにしました。

ベトナムでもキャッシュレス決済の普及に向けたプログラムが推進されており、ベトナム国家銀行（中央銀行）は、2020 年末までに 15 歳以上の銀行口座保有率を 70%に高める目標を掲げています。

調査結果の詳細は、このたび販売を開始したレポート「ベトナムにおけるモバイルペイメントの現状と展望 2018-2019」でご覧いただけます。モバイルペイメントに関する調査レポートは、インドネシアとフィリピンに続く第 3 弾となります。

主なポイントは下記の通りです。

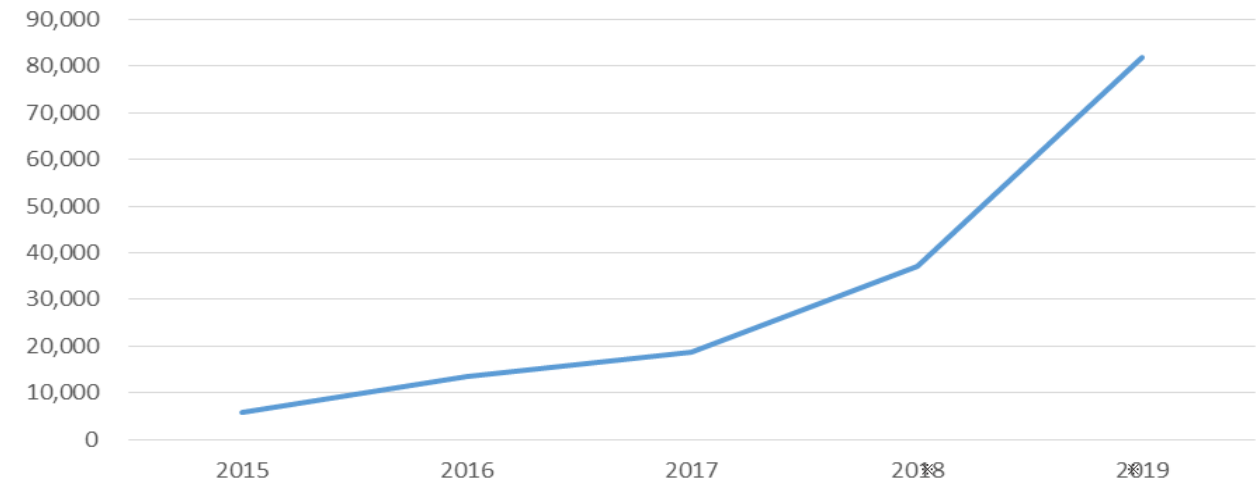
**2019 年のスマホを利用した決済金額は 2015 年比 14 倍、819 億米ドルに**

ベトナムでのスマートフォン（スマホ）を利用した決済金額は、2017 年は前年比 39%増の 186 億米ドルで、2015 年に比べて 3.2 倍となりました。2019 年は 819 億米ドル、2015 年比でおよそ 14 倍になる見込みです。

スマホの決済サービスは現在、主に電気や水道料金、通信費の支払いに利用されています。小売り店舗での QR コード決済など、新しい支払い手段の認知と普及は 2019 年以降になるとみられます。

## ベトナムにおけるスマートフォンを利用した決済金額の推移

(百万米ドル)



※2018年以降予測値  
【ベトナム中央銀行集計データを基に NNA グローバルリサーチ作成】

### ユーザー最多は決済アプリ MoMo 年内に 1,000 万件超へ

QR コード決済の加盟店を急速に伸ばしている MoMo や、NTT データの子会社が運営する Payoo、配車サービス Grab のベトナムにおけるペイメント事業を担う Moca など、各社にとって 2018 年から 2019 年は、ユーザーと加盟店獲得に向けた勝負の年となっています。

ユーザー数が最も多い MoMo は、2018 年内にアカウントが 1,000 万件を超える見通しです。



MoMo は屋台にも加盟店を拡大中 (NNA 撮影)

【調査要綱】

◇本レポートにおけるモバイルペイメントの範囲

口座入金	料金支払	EC決済	小売店舗 決済	飲食店決済	サービス 購入	リワード プログラム	現金引出	P2P送金	個人ローン	仮想通貨
○	○	○	○	○	○	○	○	対象外	対象外	対象外

◇調査対象企業

①	MOMO	独立系
②	PAYOO	独立系
③	ZALOPAY	コミュニケーション系
④	VIMO	通信系
⑤	MOCA	配車サービス系

◇販売価格

日本国内での販売価格は25万円（税抜き）。NNAの有料サービスの契約企業であれば15万円（税抜き）でお求めいただけます。形式はA4判の書籍で、日本国内であれば送料は無料です。

詳細は下記をご覧ください。

・資	料	名	：ベトナムにおけるモバイルペイメントの現状と展望 2018-2019
・価	格	：一般価格	250,000円＋税
		：NNA有料サービスご契約企業様特別価格	150,000円＋税
・体	裁	：A4判 / 82ページ	
・発	行	：株式会社エヌ・エヌ・エー	
・企	画・調	査	：グローバルリサーチグループ
(レポート詳細) <a href="https://www.nna.jp/corp_contents/book/asean/181130/">https://www.nna.jp/corp_contents/book/asean/181130/</a>			

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社エヌ・エヌ・エー

グローバルリサーチグループ（担当：八幡）

E-mail : research@nna.asia

電話 : 03-6218-4332